

「こども若者★いけんぷらす」に参加された方を対象とした アンケート調査の配信開始について ～「若者10万人の総合調査」(いけんぷらす版)～

こども家庭庁では、若者政策の出発点として、若者が置かれている状況や課題を把握するため「若年世代に関する総合的な調査」(いわゆる「若者10万人の総合調査」)を実施しているところです。

今般、より多くの若者のご意見をお伺いし、より実態を捉えた調査とする観点から、さらに、「こども若者★いけんぷらす」の仕組みを通じたアンケート調査を令和8年5月29日(金)より実施することとしましたので、お知らせします。

【テ ー マ】 : みんなの「いま」を教えて! ～若者10万人の総合調査～(いけんぷらす版)

【開催時期】 : 令和8年5月29日(金)から令和8年6月28日(日)まで

【対 象 者】 : 令和8年4月1日時点で満15歳から満29歳までのぷらすメンバー

※いけんぷらすに登録されていない方でも、令和8年6月24日(水)までにご登録いただければ参加可能です。いけんぷらすへの登録方法は以下のURLをご覧ください。
(参考)ぷらすメンバーになるためには?

<https://www.cfa.go.jp/policies/iken-plus/details>

【設問項目】 : 若者10万人を対象としたウェブアンケート調査と同様(別紙参照)

※令和8年5月29日(金)12時頃に、いけんひろばテーマ一覧(以下のURL)に掲載予定。

<https://ikenplus.cfa.go.jp/square>

いけんひろば 参加者募集中!

みんなの「いま」を教えて!
～若者10万人の総合調査～
(いけんぷらす版)

アンケートで開催

みなさんに聴きたいこと/
①どんなことに困っている?
②どんなことをもっと知りたい?
③緊急時等に頼れるところはある?

担当府省庁
こども家庭庁
※みなさんの意見を受けとり、
検討・反映するところです。

回答期間
回答は5/29(金)～6/28(日)まで!

参加対象
2026/4/1時点で満15歳～満29歳
のぷらすメンバー
※ご参加いただくためにはぷらすメンバーへの登録が必要です。

テーマについて
若者10万人を対象にしたアンケート調査を実施しております。
今回、さらに「いけんぷらす」を通じて、
ぷらすメンバーの皆さんにも調査を配信します。
皆さんが日々の中で感じていることを
広く聴いていきます。是非、調査にご参加ください。

プロフィールのハイライト「募集中のひろば」にあるリンクから回答してね!

【本件連絡先】

こども家庭庁 長官官房参事官(総合政策担当)付
白書・調査分析係
電話 03-6860-0162

【調査項目の概要】

- 基本情報
 - 性別、年齢、居住地
 - 婚姻状況
 - 学歴(校種)
 - 就業形態 等

- 自己認識(あなた自身のお気持ちについて)
 - 生活満足度
 - 自己肯定感、被支援感覚
 - 孤独感

- これまでの体験・経験について
 - 体験活動(体験活動、社会参画の経験)
 - 体験活動(体験・社会参画の希望)

- 結婚やこどものことについて
 - 結婚の意欲
 - こどもを持った理由
 - 希望/理想こども数

- 困っていることや満足感について
 - 生活に関する困り事(直面している困難)
 - 金銭的・時間的な余裕、住居・衣類への満足度

- もっと知りたいことや相談先・情報源について
 - もっと知りたいこと
 - 緊急時等に頼れるところ等の認知(情報源含む)

- 行政の施策について
 - 行政に対する信頼度、行政サービス(支援)に対する態度
 - 政策・施策の認知度

- 再びあなたご自身のことについて
 - ヤングケアラー(若者ケアラー)
 - 年収(100万円刻み)
 - 社会的養護での生活経験
 - 精神的健康(抑うつ等)
 - 日常の意見反映、社会参加

- SNSの利用について
 - SNS利用のポジティブな側面とネガティブな側面

若者10万人の総合調査（概要）

- 若者は、社会的自立に向けた重要な移行期にあるものの、年齢により支援が途切れやすいなどにより、孤独・孤立に陥りやすいこと等が指摘されている。
- 若者の実態を踏まえた若者施策の充実に向けて、まずは、若年世代の状況を大規模・包括的に把握。

<調査方法>

- ① **ウェブアンケート調査** : 15歳～39歳の若者10万人を対象
(令和8年5月20日～)



※アンケート調査項目の検討過程では、有識者、若者支援団体等及び「こども若者★いけんぷらす」でこども・若者の意見を聴取。
※なお、より多くの若者の声を聴取する観点から、「こども若者★いけんぷらす」でもアンケート調査を実施。

- ② **若者支援団体等と連携した現場レベルの情報収集**
: NPO法人等の支援を受けている者を対象

- ③ **既存の調査研究の整理・分析**
: 過去における諸外国の事例等を整理・分析



<今後のスケジュール>



<主な調査項目>

困っていること・知りたいこと 人間関係や就職活動等の具体的な場面での困り事や知りたい事を把握	体験活動 これまでに経験した体験や児童期の体験と、青年期以降の自己肯定感や生活満足度との関連を把握	社会参画への意識 社会参画への意識及び経験を把握し、社会参画と自己肯定感や生活満足度との関連を把握	精神的健康 メンタルヘルスが悪化している方とそれ以外の方との意識の違いを把握	SNSの利用 ポジティブ(他者とのつながり等)とネガティブ(メンタルヘルスの悪化等)の両面からSNS利用に対する意識を把握
公的支援に繋がらない背景 困難に直面していても公的支援に繋がらない背景を捉えるため、支援に対する認識や頼れる場所・情報源等を把握	多様な若者の実態 多様化したライフコースを歩む若者ごとの実態を把握	結婚・出産に対する意識 結婚への意欲や障壁、希望のこども数やこどもを持った理由、今の生活で優先することを把握	アウトリーチ型支援 行政機関が積極的にアウトリーチ型の支援を実施することに対する認識を把握	社会的養護経験者の実態 児童福祉施設等の社会的養護経験者とそれ以外の者との意識の違いを把握